

令和6年度
北区飛鳥山博物館事業計画

2024.03

1 令和6年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○ミニ展示の開催

- ・半分に仕切った講堂を会場としてミニ展示を開催する。期間も8日間(7営業日)に限定し、会期中に関連講座を開催する。

○旧岩淵水門 100周年記念展示の開催

- ・赤水門で親しまれている旧岩淵水門が令和6年で開設100周年となることから、これを記念したスポット展示を行う。

(2) 講座・催し物事業

○夏休み以外での子ども向け講座の実施

- ・これまで子供や親子向けの講座は夏休みに集中して行っていたが、今年度は試験的にそれ以外の時期においても講座を開催し、子どもや親子の博物館に対する関心度をはかる。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
学校対応展示	1回
スポット展示	2回
ミニ展示	1回
常展活用展示	1回
計	9回
(令和5年度	9回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
計	1回
(令和5年度	1回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	43講座	55回
展示関連講座	8講座	10回
わくわく講座	13講座	27回
	64講座	92回
(令和5年度	60講座	88回)

令和6年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 3回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	令和5年度春期企画展「ファッションプレートが映し出す近代—技術と美術の交差点—」	3月20日(水・祝)～ 5月12日(日)	特別展示室 ホワイエ	佐々木
<p>〈概 略〉 エッチング版画『J.D.M』プレートが、大正から昭和期の日本文化（殊に婦人雑誌や挿絵画家）に与えた影響を読み解く。また、プレートに使われた「紙」や「工芸官」との関わりのなかで、北区とファッションプレートの関わりを紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 資料を活用しながら、地域への関心を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「(仮) 食の考古学」	10月26日(土)～ 12月8日(日)	特別展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 原始古代における食にまつわる展示の第2段。弥生時代から古墳時代にかけての調理用具である甕の変遷や、カマドの導入による調理の変化、東西の特徴の違いについて取り上げる。</p>				
<p>〈ねらい〉 食という身近なテーマを通じて考古学に親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
3	春期企画展「(仮) 北区の埴輪」	令和7年3月18日(火) ～5月12日(日)	特別展示室 ホワイエ	安武
<p>〈概 略〉 赤羽台古墳群出土埴輪を中心に、北区出土の埴輪からわかる東国古墳社会について紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 郷土への興味関心の喚起。赤羽台4号墳出土埴輪の再整理。</p>			<p>〈対 象〉 小学生～一般</p>	
<p>〈備 考〉 出土資料の調査は、北区ジュニア考古学クラブメンバーと共同で行う。</p>				

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第23回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月14日(土)～ 10月14日(月・祝)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉 北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作</p>				

品を一堂に展示する。	
〈ねらい〉 美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。	〈対 象〉 一般
〈備 考〉	

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔のくらし展	令和7年1月5日(日)～ 2月28日(金)	特別展示室	佐々木
〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わり頃から昭和の中ごろの生活用品を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			〈対 象〉 小学生および一般	
〈備 考〉				

★ スポット展示 2回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	収蔵資料展示「学芸戦隊キュレイター―思いを込めて資料(コレ)を推します!―」	5月25日(土)～ 6月23日(日)	特別展示室	鈴木
〈概 略〉 収蔵資料の中からこれはという資料を学芸員それぞれがおすすめする展示。				
〈ねらい〉 館蔵品の活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	「(仮)旧岩淵水門100周年記念展示」	7月23日(火)～ 9月1日(日)	特別展示室	山口
〈概 略〉 旧岩淵水門100周年を記念し、洪水と荒川の河川改修工事、水門の設置について紹介する。				
〈ねらい〉 区内の文化財の周知を図る			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉 荒川下流域事務所、AMOAの協力を依頼し連携を図る				

★ ミニ展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	旅行パンフレットから知る昭和の行楽	令和7年3月2日(日)～ 3月9日(日)	講堂	久保埜
<p>〈概略〉 当館所蔵の鉄道旅行のチラシ・パンフレット類を通して、昭和前期の行楽の傾向や人気の背景などを読み解く。</p>				
<p>〈ねらい〉 所蔵資料の活用。企画展などの無い期間の集客を促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>	
<p>〈備考〉 展示は講堂の半分を仕切り、西側半分に既存の展示ケースを用いて展示する。</p>				

★ 常展活用展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	4月20日(土)～ 6月23日(日)	常設展示室	久保埜
<p>〈概略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>	
<p>〈備考〉</p>				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆2024	7月20日(土)～ 8月25日(日)	特別展示室 体験学習室 館内	安武
<p>〈概略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。体験学習室を中心に各種講座を開催するほか(詳細は夏休みわくわく講座参照)、館内全体を舞台にした催し物を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。</p>			<p>〈対象〉 小中学生とその家族</p>	
<p>〈備考〉</p>				

3. 講座・講演会

★ 一般向け講座 43講座 55回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	大人の浮世絵鑑賞講座 2024	4月28日(日) AM・PM 計2回	講堂	各30名	工藤
<p>〈概 略〉 収蔵資料の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
2	ちびっこ体験講座「こいのぼりをつくろう！」	5月3日(金・祝)	講堂	15組 30~ 75名	安武
<p>〈概 略〉 自分だけのオリジナルこいのぼり(ペーパークラフト)を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡大。「端午の節句」を知る。</p>			<p>〈対 象〉 新3歳児(年少)~小学生と保護者の2~5名1組 ※保護者は2名まで</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座</p>					
3	北区文化財めぐり—王子編—	5月11日(土)	講堂 野外	25名	山口 田中
<p>〈概 略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。飛鳥山碑、旧渋沢家飛鳥山邸、旧醸造試験所第一工場、王子神社、滝野川学園跡等を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。</p>					
4	北区遺跡学講座 2024「田端不動坂遺跡」	5月18日(土)	講堂 野外	25名	高坂
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。</p>					

今回は田端不動坂遺跡を訪れる。					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
5	双六で知る江戸・東京名所	5月25日(土)	講堂	60名	久保埜
〈概 略〉 当館所蔵の名所双六を題材として、江戸東京名所との変遷をたどる。					
〈ねらい〉 所蔵資料の活用。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
6	北区民俗学講座「人の一生一産育の習俗―」	5月26日(日)	講堂	60名	工藤
〈概 略〉 区内の出産・育児に関する習俗や儀礼について、民俗調査事例や収蔵資料を用いて紹介する。					
〈ねらい〉 区内の民俗学的事象を通じ、地域への理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
7	親子で体験！王子田楽	6月1日・8日各(土) 全2日	講堂 十条台ふれ あい館	12組 24名	田中
〈概 略〉 区指定文化財「王子田楽」について知り、体験する親子向け講座。王子田楽の映像をみて花笠の花を作ったり、楽器を演奏し、田楽のおどりを体験する。					
〈ねらい〉 区指定文化財「王子田楽」について理解を深め、地域の伝統芸能への関心を高める。			〈対 象〉 北区在住の小中学生とその保護者		
〈備 考〉 新規講座。王子田楽衆との協力のもと実施。					
8	北区ジュニア考古学クラブ 2024	6月2日・16日・8月 11日・11月17日・ 12月1日・1月26日・ 2月9日各(日)全7 回	体験学習室 野外	15名	安武 鈴木
〈概 略〉 博物館や野外の遺跡を会場とした、小中学生向けクラブ活動。1年を通して、考古学に関する活動					

を行う。					
〈ねらい〉 利用者層の拡充。歴史好き小中学生への活動の場の提供。			〈対 象〉 小学3年生～中学生		
〈備 考〉 子どものみ（要送迎）。野外見学の際、小学生は保護者同伴。継続講座。					
9	考古楽講座〈初級編〉「考古学を始めよう」	6月15日・22日・29日各（土）全3回	講堂	60名	鈴木
〈概 略〉 考古学のことをあまり知らない人に、その歴史や方法論などを知ってもらう講座。					
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。新規来館者の獲得。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
10	開催直前！お富士さん	6月23日（日）	講堂 野外	25名	田中
〈概 略〉 午前には講堂にて区内の富士講資料を紹介しながら富士講について講義し、午後に十條富士塚と近郊の富士塚をまわる。					
〈ねらい〉 区内の富士信仰について知る。指定文化財の十條富士塚などを現地で見ることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
11	若き日の熊楠が訪れた北区の遺跡	7月13日（土）	講堂	60名	牛山
〈概 略〉 明治18年、東京大学予備門に通う南方熊楠が考古資料を採集した現在の北区の遺跡がどこかを探る。					
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
12	開催直前！ 王子田楽	7月27日（土）	講堂	60名	山口
〈概 略〉 無形民俗文化財入門講座の内の王子田楽についての講座。初心者向けに基本情報を伝える講座とする。					

〈ねらい〉 区内有形・無形民俗文化財の周知を図る。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
13	第 41 回新聞から読む考古学－ 2024 年上半期を振り返る－	7月 28 日（日）	講堂	60 名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は 2024 年上半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座					
14	考古楽講座〈中級編〉 「考古学を学ぶ－丸木舟の話－」	8月 25 日（日）	講堂	60 名	安武
〈概 略〉 中里遺跡出土丸木舟等から、古代の舟について解説する。					
〈ねらい〉 縄文文化に親しむ。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
15	考古楽講座〈中級編〉 「考古学を学ぶ－古墳の埋葬施設の話－」	9月 7 日（土）	講堂	60 名	鈴木
〈概 略〉 古墳の埋葬施設についての概略を解説する。					
〈ねらい〉 遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
16	鎌倉時代の紀行文「とはすがたり」をたどる	9月 21 日（土）	講堂 野外	25 名	谷口
〈概 略〉 中世に残っている様々な紀行文のうち、今回は『とはすがたり』に描かれた道・地域を歩く。					
〈ねらい〉 中世の地域の様子を描いた紀行文の記述をたどることで、中世の様相についての理解を深める		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					

17	助一日記を読む 明治43年の水害と岩淵水門	10月12日(水)	講堂	60名	田中
<p>〈概 略〉 「高木助一日記調査報告書2」を使って、明治43年の水害被害、その後の荒川放水路建設、岩淵水門建設について講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財である「高木助一日記」の活用。資料(日記)を読む楽しさを伝える。北区の歴史についての理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 2024年は岩淵水門完成(大正13年/1924)から100年の周年にあたる。継続講座。</p>					
18	日光御成道ウォーク 【西ヶ原一里塚→岩淵宿編】	10月13日(日)	講堂 野外	25名	佐々木
<p>〈概 略〉 日光御成道を歩いて迎える講座。第1回目は西ヶ原一里塚から岩淵宿を歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区を歩き、まちに親しむ。昔の人々の暮らしを追体験する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
19	北区文化財めぐり—西ヶ原編—	10月18日(金)	野外	25名	山口
<p>〈概 略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。西ヶ原一里塚(国史跡)、七社神社、御殿前遺跡(区史跡)、平塚神社、城官寺(区指定・都指定)、旧古河庭園(国名勝)を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。</p>					
20	北区遺跡学講座 2024「遺跡未定」	10月19日(土)	講堂 野外	25名	高坂
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。遺跡は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
21	外国人に愛された王子の料理屋	10月20日(日)	講堂	60名	谷口

<p>〈概 略〉</p> <p>外国人が王子に魅了された理由の1つともなる「茶屋（料理屋）」について、彼らの記録から読み解くことで、近世に栄えた王子の料理屋について紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>江戸文化「料理屋」にふれる。外国人見聞録に親しむ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
22	古民家解説会	10月26日(土) AM・PM 計2回	北区ふるさと農家体験館	各30名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>旧松澤家住宅の解説を行う。屋根裏にも見学者を上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>古民家に対する理解を促進し、ふるさと農家体験館の周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。</p>					
23	歩く勉強会 北区の凸凹を探る	10月27日(日)	講堂 野外	25名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>特定のテーマについて、概要をミニ講座で学んだあと、実際に現地を巡見し、学びを深める。今回は北区内の高低差が顕著なエリアを歩き、周辺の地勢を理解する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域への関心と理解を一層深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
24	ドイツ人地理学者から見た王子の風景	11月3日(日)	講堂	60名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>ドイツ人地理学者「リヒトホーフェン」に焦点を置き、彼の記録を読み解くことで、自然地理学的目線から見た王子の風景を紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>近世の北区域についての理解を深める。外国人見聞録にふれる。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
25	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちゃをつくろう！」	11月16日(土) ※荒天時は翌日に順延	体験学習室	20名	安武
<p>〈概 略〉</p>					

自然観察をしながら、飛鳥山公園内を散策して拾ったどんぐりを使って、でんでんだいこやマラカスを作る。					
〈ねらい〉 利用者層の拡充。自然に親しむ。			〈対 象〉 未就学児（3～5歳児）と保護者		
〈備 考〉 継続講座。					
26	文化財講演会「未定」	11月16日（土）	講堂	60名	山口
〈概 略〉 外部講師を招いて北区の歴史に関連する話をしていただく。					
〈ねらい〉 北区の歴史について深く掘り下げ、多くの方に知っていただく。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
27	北区遺跡学講座 2024「志茂遺跡・熊野神社遺跡」	11月23日（土・祝）	講堂 野外	25名	牛山
〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は志茂遺跡・熊野神社遺跡を訪れる。					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
28	文化財公開講座 稲付の餅搗唄の実演と体験	12月7日（土）	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
〈概 略〉 稲付の餅練唄・餅搗唄保存会と西が丘小学校の生徒による餅搗唄の実演と踊りの披露。来館者による餅つきの体験を行う。					
〈ねらい〉 北区指定有形民俗文化財である稲付の餅搗唄を区民に広く周知し、餅搗唄の保存継承を図る。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
29	考古資料を見て学ぶ3	12月8日（日）	講堂	24名	牛山
〈概 略〉 区内で実施された発掘調査での出土資料を直に見て、触れて、資料の見かた等を学ぶ。					

〈ねらい〉 区内で実施された発掘調査成果の普及、活用。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
30	ちびっこ体験講座「あすかやまのおちばで、ハンカ手をそめよう！」	12月14日(土) ※荒天時は翌日に順延	体験学習室 野外	20名	安武
〈概 略〉 自然観察をしながら拾った落ち葉をつかって、草本染めをする					
〈ねらい〉 利用者層の拡充。自然に親しむ。		〈対 象〉 未就学児（4・5歳児）と保護者			
〈備 考〉 新規講座。					
31	博物館であそぼう「江戸時代のおもちゃ、ずぼんぼを作って遊ぼう！」	12月14日(土)	体験学習室	8組 16名	谷口
〈概 略〉 江戸時代の子供たちが作って遊んでいたおもちゃ、「獅子舞」のずぼんぼを作る。					
〈ねらい〉 博物館に親しむ。江戸の紙おもちゃを通じて、江戸文化にふれる。		〈対 象〉 小学校低学年と保護者1名			
〈備 考〉 例年夏休みわくわく講座として実施していたが、ずぼんぼの由来であるお正月の獅子舞踊りになぞらえ、冬の事業として実施する。新規講座。					
32	博物館で遊ぼう 年末編	12月21日(土)	講堂	8組 16名	佐々木
〈概 略〉 百人一首や、明治・大正期に発行されたすごろく、コン吉福笑い、凧あげなど、博物館や公園でお正月遊びを楽しむ。					
〈ねらい〉 昔あそびに親しむ。博物館に親しむ。		〈対 象〉 小学生と保護者			
〈備 考〉 未就学児連れOK。新規講座。					
33	考古楽講座〈上級編〉 「墳墓にみる古代人の他界観」	1月11日(土)	講堂	60名	安武
〈概 略〉 古墳での調査例をもとに、古代人の他界観（特に海上他界観）について紹介する。					

〈ねらい〉 遺跡に対する興味・関心の喚起。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
34	「音頭」が流れていた時代	1月18日(土)	講堂	60名	久保埜
〈概 略〉 北区に関する音頭を時代背景とともに紹介する。また、音頭を多数手がけた北区の作曲家・玉山英光の紹介も交える。					
〈ねらい〉 所蔵資料の活用。音楽に関心がある層の来館を促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
35	第42回新聞から読む考古学— 2024年下半期を振り返る—	1月25日(土)	講堂	60名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2024年下半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
36	開催直前！「稲付の餅搗き唄・熊野神社の白酒祭り」	2月1日(土)	講堂	60名	田中
〈概 略〉 区指定無形民俗文化財である「稲付の餅搗き唄」と「熊野神社の白酒祭り」について、その内容や歴史について解説する。					
〈ねらい〉 区指定無形民俗文化財について理解し、関心を高める。開催前に講座を実施することで、実際の無形民俗文化財への関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
37	浮世絵でめぐる王子・飛鳥山	2月15日(土)	野外	25名	佐々木
〈概 略〉 『今昔対照江戸百景』をテーマとして、王子・飛鳥山周辺の浮世絵に描かれた場所をめぐる。					
〈ねらい〉 館蔵資料の活用。北区を歩き、まちに親しむ。			〈対 象〉 一般		

<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
38	北区の考古学〈お墓編〉	2月22日(土)	講堂	60名	高坂
<p>〈概 略〉 北区内の遺跡から検出されている墓に着目し、各時代における墓制・葬制について通史的に解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区の遺跡から見つかった墓を基に各時代の墓制や死生観について解説することで、参加者の北区の遺跡への関心を高めるとともに、新たな発見を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
39	DM 優先講座「豊島氏のその後 江戸時代の豊島氏」	2月23日(日)	講堂	60名	谷口
<p>〈概 略〉 中世の北区域で名をはせた「豊島氏」が滅亡後、近世においてどのように「豊島氏」として存在したのかについて紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 豊島氏と中世武士団のその後について理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 DM 会員及び一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
40	考古学をはじめよう ジュニア 編	2月24日(月・祝)	体験学習室	12組 24名	鈴木
<p>〈概 略〉 北区の遺跡から出土した土器や石器を観察して、縄文時代や弥生時代のくらしを知る。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学を知ってもらい、歴史に興味をもってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
41	北区の近代文化史を辿る【田端周 辺編】	3月15日(土)	講堂 野外	25名	佐々木
<p>〈概 略〉 田端周辺から生まれた日本近代の文化史を歩いて辿る。</p>					
<p>〈ねらい〉 日本近代文化史を学ぶ。北区から生まれた文化史の一面を知る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		

〈備考〉 新規講座。					
42	中世の土地支配を歩いて考える Part2	3月20日(木・祝)	講堂 野外	25名	谷口
〈概略〉 豊島氏が補任していた武蔵国足立郡の佐々目郷に関する史料を読むとともに実際に佐々目郷周辺を歩く。今回は第2弾として、戸田市(美女木八幡・笹目地域)を歩き、戸田市立郷土博物館の常設展示を見学する。					
〈ねらい〉 中世における土地の支配体制や中世史について理解を深める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					
43	考古楽講座 遺跡に行こう!	3月22日(土)・23日 (日)全2回	講堂 野外	25名	鈴木
〈概略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。					
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					

★展示関連講座 8講座 10回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春期企画展関連事業「企画展示 解説会」	4月13日(土)AM・ PM 計2回	特別展示室	各回 20名	佐々木
〈概略〉 実際の資料を見ながら、展覧会担当学芸員が展覧会の見どころ等を解説する。					
〈ねらい〉 展示内容の理解を深める。春期企画展への来場者を誘引。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 申込不要、先着順。新規講座。					
2	春期企画展関連事業「ファッ ションプレートと北区の近代との 関連を探る」	4月27日(土)	講堂	60名	佐々木
〈概略〉 春期企画展展示資料とその時代に関する座学講座を行う。					
〈ねらい〉 春期企画展の資料への関心を高める。春期企画展の集客を図る。			〈対象〉 一般		

<p><備 考> 新規講座。</p>					
3	特別展覧会付帯事業「陶芸を楽しむ学ぶ講座」	9月16日（月・祝）	体験学習室	20名	久保埜
<p><概 略> 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
4	特別展覧会付帯事業「金工を楽しむ学ぶ講座」	9月28日（土）	体験学習室	11名	久保埜
<p><概 略> 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
5	特別展覧会付帯事業「作家が語る！作品解説」	10月14日（月・祝）	特別展示室	20名	久保埜
<p><概 略> 工芸への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、出展作品の技法や特徴などについて各作家に解説していただく。感染防止対策のため、会場に定員を設定して行う。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
6	秋期企画展関連事業「企画展関連講座」	11月2日（土）	講堂	60名	鈴木
<p><概 略> 秋期企画展に関連して弥生時代から古墳時代の食の道具について解説する。</p>					
<p><ねらい> 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					

7	秋期企画展関連事業「企画展示 解説会」	11月30日(土)AM・ PM 計2回	特別展示室	20名	鈴木
〈概 略〉 秋期企画展に内容を展示担当者が解説する。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
8	ミニ展示&講座「旅行パンフレ ットから知る昭和の行楽」	3月8日(土)	講堂	30名	久保埜
〈概 略〉 当館所蔵の鉄道旅行のチラシ・パンフレット類を通して、昭和前期の行楽の傾向や人気の背景などを読み解く。					
〈ねらい〉 所蔵資料の活用。企画展などの無い期間の集客を促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					

★ 夏休みわくわく講座 13講座 27回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	博物館で調べてみようー江戸時 代のファッション	7月20日(土)	体験学習室	8組 16名	久保埜
〈概 略〉 当館が所蔵する浮世絵(コピー)を素材として、江戸時代の服装や髪型などを分類し、時代による違いや特徴を調べて、ワークシートにまとめる。					
〈ねらい〉 小学校高学年の調べ学習に対応する。			〈対 象〉 小学5年生以上の子どもと保 護者の2名1組		
〈備 考〉 新規講座。					
2	和綴じメモ帳を作ってみよう(親 子で作ろう編)	7月21日(日)	体験学習室	8組 16名	佐々木
〈概 略〉 和本の形態の一つである四ツ目綴じにチャレンジし、でメモ帳を作る。					
〈ねらい〉 昔の本の作り方を知る。針と糸、でんぷん糊など、昔からある道 具を使ってモノづくりに挑戦する。博物館に親しむ。			〈対 象〉 小学3年生以上と保護者の2名 1組		
〈備 考〉 継続講座。					

3	夏休み土器づくり教室	7月24日(水)・8月2日(金)・10日(土)・17日(土)・21日(水) 計5回	体験学習室	各回 12組 24名	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 親子で1つの土器を作る。継続講座。</p>					
4	くずし字に挑戦!	7月25日(木)	体験学習室	10名	佐々木
<p>〈概 略〉 浮世絵や古文書から簡単な単語の崩し字を読んで見る講座。くずし字に親しんだ後は、自分で墨をすって筆を使ってくずし字を書いてみる。</p>					
<p>〈ねらい〉 くずし字に親しみ、歴史資料を見て追体験する楽しさを知る。博物館に親しむ</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生以上</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
5	和のデザインで団扇作り	7月26日(金)・8月9日(金)AM・PM 計 4回	体験学習室	各回 16名	田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 ①③小学3・4年生と保護者の2,3名1組 ②小学1・2年生と保護者の2名1組 ④子供のみでの参加。送迎は保護者。小学3年生以上</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
6	夏休み勾玉づくり教室	7月27日(土)・8月3日(土)・14日(水)・24日(土)計4回	体験学習室	各回 12組 24名	鈴木 安武

<p>〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 保護者も製作可。継続講座。</p>					
7	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	7月31日(水)・8月1日(木)・7日(水)・8日(木) 計4回	体験学習室	各回 16名	久保埜 佐々木
<p>〈概 略〉 親子を対象に、藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。</p>			<p>〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
8	はくぶつかん探検隊	8月4日(日)・23日(金) 計2回	体験学習室 館内	各回 10名	谷口
<p>〈概 略〉 普段は入れない博物館のバックヤードを担当学芸員の案内で探検する。</p>					
<p>〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。博物館への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 小学3～6年生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
9	しゃぼんであそぼう！	8月12日(月・祝)	体験学習室	20名	安武
<p>〈概 略〉 いろいろな道具を使って、しゃぼん玉遊びをした後に、バブルアートの方法(水彩絵の具を混ぜたシャボン玉で絵を描く)でポストカードを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡大。親子時間の提供。</p>			<p>〈対 象〉 3～5歳児と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 対象年齢未満の兄弟同伴可。継続講座。</p>					
10	作って学ぼう！江戸時代のミニキッチン	8月15日(木)	体験学習室	8組 16名	谷口

<p>〈概 略〉</p> <p>館所蔵のおもちゃ絵「おかまへっついおはちおぜんこしらい」に描かれた昔の調理道具を絵に描かれた指示の通りに作る。なお、あわせて描かれた道具の実物資料を当館収蔵品で観察し、その使い方を学びながら作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>江戸時代の台所事情についての学びを深めながら、当時のおもちゃ絵を体感することで、江戸時代の文化について理解を深める</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学校5・6年生～中学生</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
11	江戸時代の玩具「泥めんこ」をつくってあそぼう！	8月17日（木）	体験学習室	10名	高坂
<p>〈概 略〉</p> <p>区内遺跡から出土している「泥めんこ」を参考に粘土でつくり、江戸時代の遊び方を参考にして実際に遊んでみる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古資料を参考にして作製した玩具を使って実際に江戸時代当時の方法で遊ぶことにより、江戸時代の遊びを体験しながら学ぶ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学生</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
12	和綴じメモ帳を作ってみよう （一人でチャレンジ編）	8月18日（日）	体験学習室	10名	佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>和本の形態の一つである四ツ目綴じにチャレンジし、でメモ帳を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の本の作り方を知る。針と糸、でんぷん糊など、昔からある道具を使ってモノづくりに挑戦する。博物館に親しむ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学5年生以上</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
13	スケッチ！あすかやま博物館	8月22日（木）	体験学習室 常設展示室	12名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>常設展示室でスケッチして、オリジナルのポストカードを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>常設展示室の活用。博物館に親しむ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学生</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					

5. 広報

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	SNS(X・Instagram・Facebook)	通年	—	谷口
〈概 略〉 企画展の情報や講座の開催報告、学芸員の仕事、飛鳥山の様子などをSNSで発信する。				
〈ねらい〉 博物館活動を周知し、理解者・応援者を増やす。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉 担当は取りまとめ。				

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔の暮らし	1月7日(火)～ 2月28日(金)	特別展示室 講堂・館外	佐々木
〈概 略〉 館所蔵の大正初期から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験などを予定）とセットで行う。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			〈対 象〉 区内小学校中学年	
〈備 考〉				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
〈概 略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			〈対 象〉 区内小学校6年生	
〈備 考〉 新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
〈概 略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。			〈対 象〉 区内の小学校・中学校・	

				高等学校
〈備考〉 内容によって担当学芸員を決定。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	安武 佐々木
〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験してもらう。				
〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。			〈対 象〉 区内の中学校・高等学校	
〈備考〉 担当は窓口。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	8月6日（火）～8月18日（日）	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
〈備考〉 令和6年2月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学	
〈備考〉 担当は窓口。				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜
<p>〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。</p>			<p>〈対 象〉 高齢者介護施設など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
<p>〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般団体</p>	
<p>〈備 考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				

<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。</p>	

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	高坂 佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料を貸し出す。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>他館等への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>博物館・研究機関・学校など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	高坂 佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>個人や会社などへの協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>個人・博物館・学校・会社 など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保 埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域資料の保護と活用。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に 応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対 象〉 館内	
〈備 考〉				
2	燻蒸	6月29日（土）～7月7 日（日）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 佐々木
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対 象〉 各種資料	
〈備 考〉 臨時休館日は7月3日（火）～5日（金）の予定。				